

■「まだ知らない自分に出会う」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 〔1〕アウエ	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について正しく読んだり書いたりしており、本文で使用されている以外の読み方や使われ方についても理解している。 本文の語句について、指示されたものに限らず、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしている。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしていない。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解していない。
	②文章の読み方 〔1〕オ	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読み、その関連性を説明している。 問いかけや反対意見に対する答え、意見と根拠(理由)を確認しながら読んで構成を理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読んでいる。 問いかけや反対意見に対する答え、意見と根拠(理由)を確認しながら読んで構成を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 熟語や既知の単語を拾い読みするのみで、文と文、段落と段落のつながりを意識していない。 問いかけや反対意見に対する答え、意見と根拠(理由)を確認しながら読まず、構成を理解していない。
	③評論文キーワード 〔1〕エ	<ul style="list-style-type: none"> 「一般」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「一般」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「一般」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④キーワード把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 「読書」と「対話」の関連性について、筆者の主張とつなげながら理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読書」と「対話」の関連性について、筆者の主張とつなげながら理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「読書」と「対話」の関連性について、筆者の主張とつなげながら理解していない。
	⑤段落分け 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 内容に即して意味段落に分け、その根拠を説明している。 意味段落ごとに適切な小見出しをつけ、その根拠を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容に即して意味段落に分けている。 意味段落ごとに適切な小見出しをつけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容に即して意味段落に分けていない。 意味段落ごとに小見出しをつけていない。
	⑥内容把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の考える読書について、その意味を理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の考える読書について、その意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の考える読書について、その意味を理解していない。

		<ul style="list-style-type: none"> 対話を持つ双方向コミュニケーションの意味を理解し、説明している。 「まだ知らない自分に出会う」ことの意味とその機会について読み取り、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 対話を持つ双方向コミュニケーションの意味を理解している。 「まだ知らない自分に出会う」ことの意味とその機会について読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 対話を持つ双方向コミュニケーションの意味を理解していない。 「まだ知らない自分に出会う」ことの意味とその機会について読み取っていない。
	⑦主題把握 読(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> 「コミュニケーション」という視点から、「読書」と「対話」の持つ創造性について理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「コミュニケーション」という視点から、「読書」と「対話」の持つ創造性について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「コミュニケーション」という視点から、「読書」と「対話」の持つ創造性について理解していない。
	⑧表現の特徴の理解 読(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> 「～というもの。」「〇〇は～なのだ」などの定義している言い方に注目し、論理の展開において果たす役割について理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「～というもの。」「〇〇は～なのだ」などの定義している言い方に注目し、論理の展開において果たす役割について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「～というもの。」「〇〇は～なのだ」などの定義している言い方に注目し、論理の展開において果たす役割について理解していない。
主体的に 学習に取り 組む態度	⑨話し合い	<ul style="list-style-type: none"> 対話によって「まだ知らない自分」に出会ったエピソードを、自己の体験を振り返って簡潔にまとめ、話し合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 対話によって「まだ知らない自分」に出会ったエピソードを、話し合おうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 対話によって「まだ知らない自分」に出会ったエピソードを、話し合おうとしていない。

■「届く言葉」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 〔1〕アウエ	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について正しく読んだり書いたりしており、本文で使用されている以外の読み方や使われ方についても理解している。 本文の語句について、指示されたものに限らず、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしている。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしていない。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解していない。
	②文章の読み方 〔1〕オ	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読み、その関連性を説明している。 対比表現、それらの言い換えを意識しながら読み、二項対立を押さえて文章の構造を理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読んでいる。 対比表現、それらの言い換えを意識しながら読み、二項対立を押さえて文章の構造を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 熟語や既知の単語を拾い読みするのみで、文と文、段落と段落のつながりを意識していない。 対比表現、それらの言い換えを意識しながら読まず、文章の構造を理解していない。
思考・判断・表現	③キーワード把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 「届く言葉」と「届かない言葉」について、言葉の発信者の思いと関連付けながら違いを整理し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「届く言葉」と「届かない言葉」について、言葉の発信者の思いと関連付けながら違いを整理している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「届く言葉」と「届かない言葉」について、違いを整理していない。
	④構造の把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 内容に即して意味段落に分けて適切な小見出しをつけ、その根拠を説明している。 各意味段落の内容を読み取り、関係性を図示し、説明している。 段落間のつながりを踏まえ、本文全体を貫く大きな問題提起と筆者の主張を読み取り、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容に即して意味段落に分けて、適切な小見出しをつけている。 各意味段落の内容を読み取り、関係性を図示している。 段落間のつながりを踏まえ、本文全体を貫く大きな問題提起と筆者の主張を読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容に即して意味段落に分けておらず、小見出しをつけていない。 各意味段落の内容を読み取っておらず、関係性を図示していない。 段落間のつながりを踏まえず、本文全体を貫く大きな問題提起と筆者の主張を読み取っていない。
	⑤内容把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 『「はやぶさ」プロジェクトの説明のうまさ』について読み取り、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 『「はやぶさ」プロジェクトの説明のうまさ』について読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 『「はやぶさ」プロジェクトの説明のうまさ』について読み取っていない。

		<ul style="list-style-type: none"> ・「内向きの言葉」と「外に向かう言葉」の意味を理解し、説明している。 ・「届く言葉」と「届かない言葉」について読み取り、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「内向きの言葉」と「外に向かう言葉」の意味を理解している。 ・「届く言葉」と「届かない言葉」について読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「内向きの言葉」と「外に向かう言葉」の意味を理解していない。 ・「届く言葉」と「届かない言葉」について読み取っていない。
	⑥主題把握 読(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> ・「届く言葉」の持つ特徴とその大切さを、語る目的や誰を対象とする言葉なのか、語り手の姿勢などから捉え、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「届く言葉」の持つ特徴とその大切さを、語る目的や誰を対象とする言葉なのか、語り手の姿勢などから捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「届く言葉」の持つ特徴とその大切さを、語る目的や誰を対象とする言葉なのか、語り手の姿勢などから捉えていない。
	⑦表現の特徴の理解 読(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇ではなく～」「それとは逆に～」などの対比表現や、「なぜなら～からだ」などの理由を表す表現に着目し、文章展開における役割と、その効果について理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇ではなく～」「それとは逆に～」などの対比表現や、「なぜなら～からだ」などの理由を表す表現に着目し、文章展開における役割と、その効果について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「〇〇ではなく～」「それとは逆に～」などの対比表現や、「なぜなら～からだ」などの理由を表す表現に着目し、文章展開における役割と、その効果について理解していない。
主体的に 学習に取り組む 態度	⑧意見の提示	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を踏まえて、日頃の生活と照らし合わせ、身近なところから「言葉が届く」ことについてアプローチし、現代の話題や問題に通じる自分の考えを深めて、説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を踏まえて、日頃の生活と照らし合わせ、身近なところから「言葉が届く」ことについてアプローチし、自分の考えを説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を踏まえて、日頃の生活と照らし合わせ、身近なところから「言葉が届く」ことについてアプローチし、自分の考えを説明しようとしていない。

■「分かりやすい説明をする」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①表現や言葉遣い □(1)イ	・話し言葉の特徴を踏まえて、具体的な場面に 応じた言葉の使い方を理解し、その特徴を説 明している。	・話し言葉の特徴を踏まえて、具体的な場面に 応じた言葉の使い方を理解している。	・話し言葉の特徴や具体的な場面に 応じた言葉の使い方を理解していない。
	②語彙の構造理解 □(1)エ	・説明する相手の年齢や目的に合った語彙を理 解し、その特徴を説明している。	・説明する相手の年齢や目的に合った語彙を理 解している。	・説明する相手の年齢や目的に合った語彙を理 解していない。
思考・判断・表現	③構成の検討 □話・聞(1)イ	・説明の目的と相手の立場や年齢にふさわしい 構成になるよう、話す詳しさを順序などを工 夫し、聞き手の反応を確かめながら話してい る。	・説明の目的と相手の立場や年齢にふさわしい 構成になるよう、話す詳しさを順序などを工 夫して話している。	・説明の目的と相手の立場や年齢にふさわしい 構成に配慮せずに話している。
	④表現と共有 □話・聞(1)ウ	・相手の立場に立った話し言葉を使い、相手の 理解が得られるように工夫して話している。	・相手の立場に立った話し言葉を使って、工夫 して話している。	・相手の立場に立った話し言葉を使って話して いない。
学習に主体的に取り組む態度	⑤ロールプレー	・話し手と聞き手の役割を理解し、分かりやす い説明や質問応答を積極的に行い、相互評価 をしようとしている。	・話し手と聞き手の役割を理解し、説明や質問 応答を行い、相互評価をしようとしている。	・話し手と聞き手の役割を理解せず、説明や質 問応答、相互評価をしようとしていない。

■「手順を整理して正確に伝える」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 〔1〕ウ	・手順書を書くために適切な漢字・語彙を選択し、正しく書き表している。	・手順書を書くために必要な漢字を正しく書き表している。	・手順書を書くために必要な漢字を正しく書き表していない。
	②文章の構成 〔1〕オ	・手順書にふさわしい構成について理解し、その特徴を説明している。	・手順書にふさわしい構成について理解している。	・手順書にふさわしい構成について理解していない。
	③情報の理解 〔2〕イ	・情報の具体性・抽象性に加え、重要度にも注意して、情報を分類している。	・情報の具体性・抽象性に注意して、情報を分類している。	・情報の具体性・抽象性に注意して、情報を分類していない。
思考・判断・表現	④構成の検討 書〔1〕ウ	・使いたい内容に合った形式を選択し、分かりやすい表現になるように工夫して手順書をまとめている。	・使いたい内容に合った形式を選択し、手順書をまとめている。	・使いたい内容に合わない形式で手順書を書いている。
	⑤推敲 書〔1〕エ	・作成した手順書を見直し、読み手に合った表現になるように推敲している。	・作成した手順書を見直し、推敲している。	・作成した手順書を見直さず、推敲していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑥手順書の作成	・手順書の学習を通して、情報を取捨選択し、整理して正確に伝える方法を知ろうとし、身の回りの手順書の工夫にも関心を広げようとしている。	・手順書の学習を通して、情報を取捨選択し、整理して正確に伝える方法を知ろうとしている。	・手順書の学習を通して、情報を取捨選択し、整理して正確に伝える方法を知ろうとしていない。

■「今ここにある無数の未知」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 〔1〕アウエ	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について正しく読んだり書いたりしており、本文で使用されている以外の読み方や使われ方についても理解している。 本文の語句について、指示されたものに限らず、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしている。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしていない。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解していない。
	②文章の読み方 〔1〕オ	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読み、その関連性を説明している。 問題提起とその答え、筆者の体験や具体例と主張の関連に注目しながら読み、論理を把握して説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読んでいる。 問題提起とその答え、筆者の体験や具体例と主張の関連に注目しながら読み、論理を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> 熟語や既知の単語を拾い読みするのみで、文と文、段落と段落のつながりを意識していない。 問題提起とその答え、筆者の体験や具体例と主張の関連に注目しながら読まず、論理を把握していない。
	③評論文キーワード 〔1〕エ	<ul style="list-style-type: none"> 「一般」「身体」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「一般」「身体」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「一般」「身体」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④キーワード把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 「辺境」と「中心」の捉え方、さまざまな「旅」についての違いを把握し、それらを説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「辺境」と「中心」の捉え方、さまざまな「旅」についての違いを把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「辺境」と「中心」の捉え方、さまざまな「旅」についての違いを把握していない。
	⑤展開の把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 各意味段落に適切な小見出しをつけ、その根拠を説明している。 各意味段落の内容を、キーワードを使って関係性を図示し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各意味段落に適切な小見出しをつけている。 各意味段落の内容を、キーワードを使って関係性を図示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各意味段落に適切な小見出しをつけていない。 各意味段落の内容を、キーワードを使って関係性を図示していない。
	⑥内容把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 筆者が体験した「辺境」の旅の内容を読み取り、筆者の考えたことを理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者が体験した「辺境」の旅の内容を読み取り、筆者の考えたことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者が体験した「辺境」の旅の内容を読み取らず、筆者の考えたことを理解していない。

		<ul style="list-style-type: none"> ・「本来の旅」の在り方をさまざまな旅と比較しながら読み取り，筆者の考えを理解し，説明している。 ・「無数の未知を発見する旅」について，筆者の論旨をもとに理解し，説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「本来の旅」の在り方をさまざまな旅と比較しながら読み取り，筆者の考えを理解している。 ・「無数の未知を発見する旅」について，筆者の論旨をもとに理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「本来の旅」の在り方をさまざまな旅と比較しながら読み取らず，筆者の考えを理解していない。 ・「無数の未知を発見する旅」について，筆者の論旨をもとに理解していない。
	⑦主題把握 読(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> ・「旅」は「今ここにある」とする筆者の主張と論拠を読み取り，説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「旅」は「今ここにある」とする筆者の主張と論拠を読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「旅」は「今ここにある」とする筆者の主張と論拠を読み取っていない。
	⑧表現の特徴の理解 読(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> ・「～にほかならない」「大切なのは～」などの表現に注目し，筆者の主観的価値判断を理解し，その文章上の効果を捉え，説明している。 ・「一般」「身体」などの評論でよく使われる抽象的な言葉の意味を理解し，説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「～にほかならない」「大切なのは～」などの表現に注目し，筆者の主観的価値判断を理解し，その文章上の効果を捉えている。 ・「一般」「身体」などの評論でよく使われる抽象的な言葉の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「～にほかならない」「大切なのは～」などの表現に注目せず，筆者の主観的価値判断を理解していない。 ・「一般」「身体」などの評論でよく使われる抽象的な言葉の意味を理解していない。
学習主体的に 取り組む態度	⑨意見の提示	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の理解を踏まえて，自己の体験や日々の営みに目を向けて「旅」について客観的に考え，独自の視点で簡潔に説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の理解を踏まえて，自己の体験や日々の営みに目を向けて「旅」について考え，説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の理解を踏まえて，自己の体験や日々の営みに目を向けて「旅」について考え，説明しようとしていない。

■「不思議な拍手」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 〔1〕アウエ	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について正しく読んだり書いたりしており、本文で使用されている以外の読み方や使われ方についても理解している。 本文の語句について、指示されたものに限らず、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしている。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしていない。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解していない。
	②文章の読み方 〔1〕オ	<ul style="list-style-type: none"> 接続語や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読み、その関連性を説明している。 起こった事実と、心理学の実験結果から導かれた法則、法則を当てはめた推測という流れに注目して読んで、三段階の仮説形成を用いた論理の展開を理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続語や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読んでいる。 起こった事実と、心理学の実験結果から導かれた法則、法則を当てはめた推測という流れに注目して読んで、三段階の仮説形成を用いた論理の展開を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続語や指示語に注意せず、前後のつながりを意識しながら読んでいない。 起こった事実と、心理学の実験結果から導かれた法則、法則を当てはめた推測という流れに注目せずに読んでいるため、三段階の仮説形成を用いた論理の展開を理解していない。
思考・判断・表現	③キーワード把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 「情動」「情動の高揚」「高まりの誤帰属」など心理学的用語の意味を理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「情動」「情動の高揚」「高まりの誤帰属」など心理学的用語の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「情動」「情動の高揚」「高まりの誤帰属」など心理学的用語の意味を理解していない。
	④構成の把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 各意味段落の内容を踏まえ、適切な小見出しをつけ、その根拠について説明している。 各意味段落の内容を、キーワードを使って図示し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各意味段落の内容を踏まえ、適切な小見出しをつけている。 各意味段落の内容を、キーワードを使って図示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 意味段落ごとに小見出しをつけていない。 各意味段落の内容を、キーワードを使って図示していない。
	⑤内容把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> カワカベさんの「拍手」から、筆者が感じたり推測したりしたことを読み取り、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> カワカベさんの「拍手」から、筆者が感じたり推測したりしたことを読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> カワカベさんの「拍手」から、筆者が感じたり推測したりしたことを読み取っていない。

		<ul style="list-style-type: none"> 心理学の実験内容を正しく理解し、カワカベさんの「拍手」を法則に当てはめた筆者の考えを捉え、説明している。 推測したことを前提に、カワカベさんの「拍手」について、さらに考えを進めた筆者が新たに感じたことを読み取り、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 心理学の実験内容を正しく理解し、カワカベさんの「拍手」を法則に当てはめた筆者の考えを捉えている。 推測したことを前提に、カワカベさんの「拍手」について、さらに考えを進めた筆者が新たに感じたことを読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 心理学の実験内容を正しく理解せず、カワカベさんの「拍手」を法則に当てはめた筆者の考えを捉えていない。 推測したことを前提に、カワカベさんの「拍手」について、さらに考えを進めた筆者が新たに感じたことを読み取っていない。
	⑥表現の特徴の理解 読(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> 文章の最後で「分かっている」を括弧でくくった意味を考え、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の最後で「分かっている」を括弧でくくった意味を考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の最後で「分かっている」を括弧でくくった意味を考えていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑦意見の提示	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を踏まえて、「分かる」という認識や人間の心の持つ複雑さについて理解するとともに考えを深め、説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を踏まえて、「分かる」という認識や人間の心の持つ複雑さについて、説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の内容を踏まえて、「分かる」という認識や人間の心の持つ複雑さについて、説明しようとしていない。

■「水の東西」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 〔1〕アウエ	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について正しく読んだり書いたりしており、本文で使用されている以外の読み方や使われ方についても理解している。 本文の語句について、指示されたものに限らず、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしている。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしていない。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解していない。
	②文章の読み方 〔1〕オ	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読み、その関連性を説明している。 具体と抽象の関係に注目し、軽重をつけて本文を読み、その読み方を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読んでいる。 具体と抽象の関係に注目し、軽重をつけて本文を読んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 熟語や既知の単語を拾い読みするのみで、文と文のつながりを意識していない。 具体と抽象の関係に注目せず、ただ漫然と本文を読んでいる。
思考・判断・表現	③キーワード把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 「鹿おどし」と「噴水」について具体的にイメージし、その特徴を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「鹿おどし」と「噴水」について具体的にイメージしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「鹿おどし」と「噴水」についてイメージしていない。
	④段落分け 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 内容に即して意味段落に分け、その根拠を説明している。 意味段落ごとに小見出しをつけ、その根拠を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容に即して意味段落に分けている。 意味段落ごとに小見出しをつけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容に即して意味段落に分けていない。 意味段落ごとに小見出しをつけていない。
	⑤内容把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 「鹿おどし」と「流れてやまないものの存在」の関係性を理解し、それを説明している。 日本の「鹿おどし」との対比を通し、西洋の噴水の特徴を読み取って、それを説明している。 日本と西洋の水に対する捉え方の違いを読み 	<ul style="list-style-type: none"> 「鹿おどし」と「流れてやまないものの存在」の関係性を理解している。 日本の「鹿おどし」との対比を通し、西洋の噴水の特徴を読み取っている。 日本と西洋の水に対する捉え方の違いを読み 	<ul style="list-style-type: none"> 「鹿おどし」と「流れてやまないものの存在」の関係性を理解していない。 日本の「鹿おどし」と対比して西洋の噴水の特徴を読み取っていない。 日本と西洋の水に対する捉え方の違いを読み

		<p>取り、前者の独自性について説明している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鹿おどし」の事例をもとに、日本人の感性の特徴を理解し、説明している。 	<p>取っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鹿おどし」の事例をもとに、日本人の感性の特徴を理解している。 	<p>取っていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鹿おどし」の事例をもとに、日本人の感性の特徴を理解していない。
	<p>⑥構造把握</p> <p>読(1)ア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中にあるさまざまな対比関係を整理して指摘し、そのうえで明示されていない内容も対比をもとに考え、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中にあるさまざまな対比関係を整理して指摘し、そのうえで明示されていない内容も対比をもとに考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文中にある対比関係を整理、指摘していない。
	<p>⑦表現の特徴の理解</p> <p>読(1)ア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「かえって」「むしろ」といった逆説的な表現とそれがもたらす表現効果について理解し、その効果を説明している。 ・対義語や対比的表現を整理し、それらが示す語義への理解から筆者の立場をくみ取って説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「かえって」「むしろ」といった逆説的な表現とそれがもたらす表現効果について理解している。 ・対義語や対比的表現を整理し、それらが示す語義への理解から筆者の立場をくみ取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「かえって」「むしろ」といった逆説的な表現について理解していないか、辞書的な意味の理解にとどまっている。 ・対義語や対比的表現を整理していないか整理だけにとどまり、筆者の立場をくみ取っていない。
<p>主体的に 学習に取り 組む態度</p>	<p>⑧スピーチ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の理解を踏まえて、「鹿おどし」のような日本独自の文化を象徴する事柄や事物を挙げて、西洋と対比しながら自分独自の視点で説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の理解を踏まえて、「鹿おどし」のような日本独自の文化を象徴する事柄や事物を挙げて説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の理解を踏まえて、「鹿おどし」のような日本独自の文化を象徴する事柄や事物を挙げて説明していない。

■「発想を広げて課題を見つける」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①情報の理解 (2)イ	・情報の具体性・抽象性に加え、重要度にも注意して、情報を整理している。	・情報の具体性・抽象性に注意して、情報を整理している。	・情報の具体性・抽象性に注意して、情報を整理していない。
思考・判断・表現	②内容の検討 話・聞(1)ア	・思考・発想を整理しながら広げるための方法を理解し、さまざまな観点からアイデアを出して整理している。	・思考・発想を整理しながら広げるための方法を理解し、アイデアを出して整理している。	・思考・発想を整理しながら広げるための方法を理解していないか、理解していてもアイデアを出して整理していない。
	③構成の検討 話・聞(1)イ	・自分の立場や考えを明確にし、分かりやすく伝えるために話の構成や展開を工夫して話している。	・分かりやすく伝えるために話の構成や展開を工夫して話している。	・分かりやすく伝えるために話の構成や展開を工夫して話していない。
主体的に学習に取り組む態度	④発表	・「マッピング」「ブレインストーミング」「カードによるグルーピング」の学習を通して、思考・発想を整理しながら広げるための方法を知ろうとし、日常生活においても、活用しようとしている。	・「マッピング」「ブレインストーミング」「カードによるグルーピング」の学習を通して、思考・発想を整理しながら広げるための方法を知ろうとしている。	・「マッピング」「ブレインストーミング」「カードによるグルーピング」の学習を通して、思考・発想を整理しながら広げるための方法を知ろうとしていない。

■「新聞記事をもとに問いを作り、意見をまとめる」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 〔1〕ウ	・意見文を書くために適切な漢字・語彙を選択し、正しく書き表している。	・意見文を書くために必要な漢字を正しく書き表している。	・意見文を書くために必要な漢字を正しく書き表していない。
	②文章の構成 〔1〕オ	・意見文にふさわしい構成について理解し、その特徴を説明している。	・意見文にふさわしい構成について理解している。	・意見文にふさわしい構成について理解していない。
	③情報の理解 〔2〕オ	・引用の必要性を理解し、主張の説得力を高めるために必要な情報を効果的に引用し、出典を明示している。	・引用の必要性を理解し、必要な情報を引用し、出典を明示している。	・引用の必要性を理解していないか、理解していても、必要な情報を引用したり、出典を明示したりしていない。
思考・判断・表現	④内容の検討 書〔1〕ア	・記事の内容を整理して問いを作り、その問いを選んだ理由を述べている。	・記事の内容を整理して問いを作っている。	・選んだ記事の内容を整理していないか、整理していても問いを作っていない。
	⑤構成の検討 書〔1〕イ	・意見文の構成や展開の工夫についての根拠を理解したうえで、まとめている。	・意見文の構成や展開を工夫し、まとめている。	・意見文の構成や展開を工夫し、まとめていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑥意見書の作成	・意見文の学習を通して、情報を取捨選択し、自分の生活と関連付けて問いを作り、それに対する自分の考えを読み手の理解が得られるように伝える方法を知ろうとし、身の回りの意見文の工夫にも関心を広げようとしている。	・意見文の学習を通して、情報を取捨選択し、自分の生活と関連付けて問いを作り、それに対する自分の考えを読み手の理解が得られるように伝える方法を知ろうとしている。	・意見文の学習を通して、情報を取捨選択し、自分の生活と関連付けて問いを作り、それに対する自分の考えを読み手の理解が得られるように伝える方法を知ろうとしていない。

■「言葉は世界を切り分ける」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 〔1〕アウエ	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について正しく読んだり書いたりしており、本文で使用されている以外の読み方や使われ方についても理解している。 本文の語句について、指示されたものに限らず、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしている。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしていない。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解していない。
	②文章の読み方 〔1〕オ	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読み、その関連性を説明している。 具体例とその一般化の関係を確認しながら読み、筆者の主張となる文に印をつけ、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読んでいる。 具体例とその一般化の関係を確認しながら読み、筆者の主張となる文に印をつけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 熟語や既知の単語を拾い読みするのみで、文と文のつながりを意識していない。 具体例とその一般化の関係を確認しながら読むことをせず、筆者の主張となる文に印をつけていない。
	③評論文キーワード 〔1〕エ	<ul style="list-style-type: none"> 「システム」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「システム」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「システム」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④展開の把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 問題提起→例示→一般化→回答という構成を整理して指摘し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題提起→例示→一般化→回答という構成を整理して指摘している。 	<ul style="list-style-type: none"> 問題提起→例示→一般化→回答という構成を整理して指摘していない。
	⑤内容把握 読〔1〕アイ	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の「『面』としての意味」を色の例から読み取って、説明している。 「異なる言語は異なる仕方で世界を分節する」ことを読み取って、説明している。 「言葉を知る」とはどのようなことか読み取って、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の「『面』としての意味」を色の例から読み取っている。 「異なる言語は異なる仕方で世界を分節する」ことを読み取っている。 「言葉を知る」とはどのようなことか読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 言葉の「『面』としての意味」を色の例から読み取っていない。 「異なる言語は異なる仕方で世界を分節する」ことを読み取っていない。 「言葉を知る」とはどのようなことかを読み取っていない。

		<ul style="list-style-type: none"> 文章と図を相互に関連付けながら筆者の主張を理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章と図を相互に関連付けながら筆者の主張を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章と図を相互に関連付けながら筆者の主張を理解していない。
	⑥構造把握 読(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張と具体例を整理して指摘し、具体例から筆者が導きたいことを理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張と具体例を整理して指摘し、具体例から筆者が導きたいことを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張と具体例を整理、指摘していない。
	⑦表現の特徴の理解 読(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> 具体例を整理し、それらがもたらす表現効果について理解し、説明している。 文中に使われている「——」(ダッシュ)の表現効果について理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体例を整理し、それらがもたらす表現効果について理解している。 文中に使われている「——」(ダッシュ)の表現効果について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体例を整理していないか、整理だけにとどまり、それらがもたらす表現効果について理解していない。 文中に使われている「——」(ダッシュ)の表現効果について理解していない。
主体的に 学習に取り 組む態度	⑧まとめと例示	<ul style="list-style-type: none"> 本文の理解を踏まえて、言葉の働きについて自分の考えをまとめ、説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の理解を踏まえて、言葉の働きについて自分の考えをまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の理解を踏まえて、言葉の働きについて自分の考えをまとめようとしていない。

■「まちの豊かさとは何か」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 〔1〕アウエ	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について正しく読んだり書いたりしており、本文で使用されている以外の読み方や使われ方についても理解している。 本文の語句について、指示されたものに限らず、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしている。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしていない。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解していない。
	②文章の読み方 〔1〕オ	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読み、その関連性を説明している。 筆者の体験や具体例と考えの変化に注目しながら読んで、文章構成を把握し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読んでいる。 筆者の体験や具体例と考えの変化に注目しながら読んで、文章構成を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> 熟語や既知の単語を拾い読みするのみで、文と文、段落と段落のつながりを意識していない。 筆者の体験や具体例と考えの変化に注目しながら読まず、文章構成を把握していない。
思考・判断・表現	③キーワード把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 「コミュニティ」におけるつながりと「豊かさ」との関連性を理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「コミュニティ」におけるつながりと「豊かさ」との関連性を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「コミュニティ」におけるつながりと「豊かさ」との関連性を理解していない。
	④展開の把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 各意味段落に適切な小見出しをつけ、その根拠を説明している。 各意味段落の内容を、キーワードを使って関係性を図示し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各意味段落に適切な小見出しをつけている。 各意味段落の内容を、キーワードを使って関係性を図示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各意味段落に適切な小見出しをつけていない。 各意味段落の内容を、キーワードを使って関係性を図示していない。
	⑤内容把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 筆者のワークショップでの体験と気づきについて理解し、説明している。 コミュニティに対する筆者の考えの変化を読み取り、説明している。 時代とともに変化した「豊かさ」についての考え方と、それに伴う「デザイナーの仕事」の変化を読み取り、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者のワークショップでの体験と気づきについて理解している。 コミュニティに対する筆者の考えの変化を読み取っている。 時代とともに変化した「豊かさ」についての考え方と、それに伴う「デザイナーの仕事」の変化を読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者のワークショップでの体験と気づきについて理解していない。 コミュニティに対する筆者の考えの変化を読み取っていない。 時代とともに変化した「豊かさ」についての考え方と、それに伴う「デザイナーの仕事」の変化を読み取っていない。

		<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティにおける人間関係の特性を理解し、説明している。 ・「まちの豊かさ」についての筆者の考えを読み取り、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティにおける人間関係の特性を理解している。 ・「まちの豊かさ」についての筆者の考えを読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティにおける人間関係の特性を理解していない。 ・「まちの豊かさ」についての筆者の考えを読み取っていない。
	⑥表現の特徴の理解 読(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> ・「～必要がある」「まさに～」「～はずである」などの表現に注目し、筆者の主観的価値判断を理解し、その効果を捉え、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「～必要がある」「まさに～」「～はずである」などの表現に注目し、筆者の主観的価値判断を理解し、その効果を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「～必要がある」「まさに～」「～はずである」などの表現に注目せず、筆者の主観的価値判断を理解していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑦討論	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の理解を踏まえて、「豊かさ」という抽象的概念を、自己の体験や日々の暮らしにつなげて具体性をもって考え、「豊かさとは何か」について自分の考えを的確に述べ、考え方の違いを理解したうえで討論しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の理解を踏まえて、「豊かさ」という抽象的概念を、自己の体験や日々の暮らしにつなげて具体性をもって考え、「豊かさとは何か」について自分の考えを述べ、討論しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の理解を踏まえて、「豊かさ」という抽象的概念を、自己の体験や日々の暮らしにつなげて具体性をもって考え、「豊かさとは何か」について自分の考えを述べず、討論しようとしていない。

■「時間と自由の関係について」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 〔1〕アウエ	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について正しく読んだり書いたりしており、本文で使用されている以外の読み方や使われ方についても理解している。 本文の語句について、指示されたものに限らず、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしている。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしていない。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解していない。
	②文章の読み方 〔1〕オ	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読み、その関連性を説明している。 具体例とその一般化の関係を確認しながら読み、筆者の主張となる文に印をつけ、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読んでいる。 具体例とその一般化の関係を確認しながら読み、筆者の主張となる文に印をつけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 熟語や既知の単語を拾い読みするのみで、文と文のつながりを意識していない。 具体例とその一般化の関係を確認しながら読むことをせず、筆者の主張となる文に印をつけていない。
思考・判断・表現	③キーワード把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 二種類の「時間の自由」や「二つの時間」について、対比しながら、それぞれ「時間」をどのように捉えているかを読み取って、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 二種類の「時間の自由」や「二つの時間」について、対比しながら、それぞれ「時間」をどのように捉えているかを読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 二種類の「時間の自由」や「二つの時間」について、対比しながら、それぞれ「時間」をどのように捉えているかを読み取っていない。
	④展開の把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 四つの段のそれぞれで述べられていることを整理して全体の構成を把握し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 四つの段のそれぞれで述べられていることを整理して全体の構成を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> 四つの段のそれぞれで述べられていることを整理して全体の構成を把握していない。
	⑤内容把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育と労働における価値基準の転換について、読み取って、説明している。 「外部化された時間」とは何かを読み取って、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育と労働における価値基準の転換について、読み取っている。 「外部化された時間」とは何かを読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育と労働における価値基準の転換について、読み取っていない。 「外部化された時間」とは何かを読み取っていない。

		・現代人の社会の時間の在り方について、筆者がどのように捉えているかを読み取って、説明している。	・現代人の社会の時間の在り方について、筆者がどのように捉えているかを読み取っていない。	・現代人の社会の時間の在り方について、筆者がどのように捉えているかを読み取っていない。
	⑥主題把握 読(1)ア	・時間と自由の関係について、筆者の考えを読み取って、説明している。	・時間と自由の関係について、筆者の考えを読み取っていない。	・時間と自由の関係について、筆者の考えを読み取っていない。
	⑦表現の特徴の理解 読(1)ア	・二つの考えを対比的に述べている表現を整理し、それらがもたらす表現効果について理解し、説明している。	・二つの考えを対比的に述べている表現を整理し、それらがもたらす表現効果について理解している。	・二つの考えを対比的に述べている表現を整理していないか、整理していてもそれらがもたらす表現効果について理解していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑧意見の提示	・筆者の主張を踏まえて、それに対する自分の考えを深め、根拠をもって説明している。	・筆者の主張を踏まえて、それに対する自分の考えを深めている。	・筆者の主張を踏まえて、それに対する自分の考えを深めていない。

■「本を紹介する」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①表現や言葉遣い 〔1〕イ	・話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、その違いを説明している。	・話し言葉の特徴を理解している。	・話し言葉の特徴を理解していない。
	②話の構成 〔1〕オ	・聞き手に伝わりやすい話の組み立て方を理解し、その特徴を説明している。	・聞き手に伝わりやすい話の組み立て方を理解している。	・聞き手に伝わりやすい話の組み立て方を理解していない。
	③読書の意義 〔3〕ア	・紹介し合う活動を通して、読書の良さについて理解し、自分の関心や興味を認識できている。	・紹介し合う活動を通して、読書の良さについて理解している。	・紹介し合う活動を通して、読書の良さについて理解していない。
思考・判断・表現	④構成の検討 話・聞〔1〕イ	・紹介する本の内容や、その本を紹介する理由が的確に伝わる構成を意識し、聞き手の反応を確かめながら話している。	・紹介する本の内容や、その本を紹介する理由が的確に伝わる構成を意識し、話している。	・紹介する本の内容や、その本を紹介する理由が的確に伝わる構成を意識しないで、話している。
	⑤表現と共有 話・聞〔1〕ウ	・班としての紹介で、掲示物や視聴覚機器を効果的に使い、相手の理解が得られるように工夫して話している。	・班としての紹介で、掲示物や視聴覚機器を効果的に使っている。	・班としての紹介で、掲示物や視聴覚機器を効果的に使っていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑥発表	・本を紹介し合うことで、新しい本の魅力を知り、読書の幅を広げようとしている。	・本を紹介し合うことで、新しい本の魅力を知ろうとしている。	・本を紹介し合うことで、新しい本の魅力を知ろうとしない。

■「調べた情報を説明資料にまとめる」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 〔1〕ウ	・説明資料を書くために適切な漢字・語彙を選択し、正しく書き表している。	・説明資料を書くために必要な漢字を正しく書き表している。	・説明資料を書くために必要な漢字を正しく書き表していない。
	②文章の構成 〔1〕オ	・説明資料にふさわしい構成について理解し、その特徴を説明している。	・説明資料にふさわしい構成について理解している。	・説明資料にふさわしい構成について理解していない。
	③情報の理解 〔2〕イ	・必要な情報の項目を設定し、意図を持って項目を分類・整理している。 ・情報の具体性・抽象性に加え、重要度にも注意して、情報を整理している。	・情報の項目を設定し、項目を分類・整理している。 ・情報の具体性・抽象性に注意して、情報を整理している。	・情報の項目を設定していないか、設定していても分類・整理していない。 ・情報の具体性・抽象性に注意して、情報を整理していない。
思考・判断・表現	④内容の検討 書〔1〕ア	・収集した情報の内容を整理し、妥当性や信頼性を吟味して、的確に選択している。	・収集した情報の内容を整理し、妥当性や信頼性を吟味している。	・収集した情報の内容を整理していないか、整理していても妥当性や信頼性を吟味していない。
	⑤推敲 書〔1〕エ	・作成した説明資料を見直し、読み手に合った表現になるように推敲している。	・作成した説明資料を見直し、推敲している。	・作成した説明資料を見直さず、推敲していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑥説明資料の作成	・説明資料の学習を通して、必要な情報を収集・整理・吟味し、伝えたいことを明確にしながら説明資料を作成する方法を知ろうとし、身の回りの説明資料の工夫にも関心を広げようとしている。	・説明資料の学習を通して、必要な情報を収集・整理・吟味し、伝えたいことを明確にしながら説明資料を作成する方法を知ろうとしている。	・説明資料の学習を通して、必要な情報を収集・整理・吟味し、伝えたいことを明確にしながら説明資料を作成する方法を知ろうとしていない。

■「真の自立とは」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 〔1〕アウエ	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について正しく読んだり書いたりしており、本文で使用されている以外の読み方や使われ方についても理解している。 本文の語句について、指示されたものに限らず、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしている。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしていない。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解していない。
	②文章の読み方 〔1〕オ	<ul style="list-style-type: none"> 具体例とその一般化の関係を確認しながら読み、筆者の主張となる文に印をつけている。 意見と根拠（理由）、問いかけとその答えを確認しながら読んで論理を把握し、それらを説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体例とその一般化の関係を確認しながら読み、筆者の主張となる文に印をつけている。 意見と根拠（理由）、問いかけとその答えを確認しながら読んで、論理を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> 具体例とその一般化の関係を確認しながら読むことをせず、筆者の主張となる文に印をつけていない。 意見と根拠（理由）、問いかけとその答えを確認しながら読まず、論理を把握していない。
思考・判断・表現	③キーワード把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 「自立」と「独立」の違いを整理し、筆者独自の定義として理解し、それらを説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自立」と「独立」の違いを整理し、筆者独自の定義として理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「自立」と「独立」の違いを整理せず、筆者独自の定義として理解していない。
	④内容把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会における「できる」「できない」の構造とその問題点を読み取り、説明している。 社会における「フォロワー」の存在と「自立」との関係を読み取り、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会における「できる」「できない」の構造とその問題点を読み取っている。 社会における「フォロワー」の存在と「自立」との関係を読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 現代社会における「できる」「できない」の構造とその問題点を読み取っていない。 社会における「フォロワー」の存在と「自立」との関係を読み取っていない。
	⑤主題把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 第一段と第二段の関連を踏まえ、「生きていく意味」と「自立」とのつながりを理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第一段と第二段の関連を踏まえ、「生きていく意味」と「自立」とのつながりを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 第一段と第二段の関連を意識せず、「生きていく意味」と「自立」とのつながりを理解していない。
	⑥考えの形成 読〔1〕イ	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張と、「自立」について書かれた他の文章とを相互に関連付けながら、自分の考えを深め、根拠をもって説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張と、「自立」について書かれた他の文章とを相互に関連付けながら、自分の考えを深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張と、「自立」について書かれた他の文章とを相互に関連付けて自分の考えを深めていない。

	⑦表現の特徴の理解 読(1)ア	・「生き方」ではなく「生きることの作法」という表現をした筆者の意図について、「作法」という言葉の意味から考えて、説明している。	・「生き方」ではなく「生きることの作法」という表現をした筆者の意図について、「作法」という言葉の意味から考えている。	・「生き方」ではなく「生きることの作法」という表現をした筆者の意図について考えていない。
学習主体に 取り組む態度	⑧意見の提示	・「自立」の在り方について、現代社会における具体的な課題を複数示しながら、それらの課題を自分の日常生活に引き付けて、説得力のある意見を述べている。	・「自立」の在り方について、現代社会における具体的な課題を示しながら、その課題を自分の日常生活に引き付けて、意見を述べている。	・「自立」の在り方について、現代社会における具体的な課題を示したり、その課題を自分の日常生活に引き付けたりして、意見を述べていない。

■「自立と市場」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 〔1〕アウエ	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について正しく読んだり書いたりしており、本文で使用されている以外の読み方や使われ方についても理解している。 本文の語句について、指示されたものに限らず、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしている。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしていない。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解していない。
	②文章の読み方 〔1〕オ	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読み、その関連性を説明している。 比喩や引用、具体例とその一般化の関係を確認しながら読み、筆者の主張となる文に印をつけ、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読んでいる。 比喩や引用、具体例とその一般化の関係を確認しながら読み、筆者の主張となる文に印をつけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 熟語や既知の単語を拾い読みするのみで、文と文のつながりを意識していない。 比喩や引用、具体例とその一般化の関係を確認しながら読むことをせず、筆者の主張となる文に印をつけていない。
	③評論文キーワード 〔1〕エ	<ul style="list-style-type: none"> 「絶対」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「絶対」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「絶対」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④キーワード把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の考える「自立」と「依存」の違いを整理して理解し、説明している。 筆者の考える「自立」と「市場」の関係性を整理して理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の考える「自立」と「依存」の違いを整理して理解している。 筆者の考える「自立」と「市場」の関係性を整理して理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の考える「自立」と「依存」の違いを整理して理解していない。 筆者の考える「自立」と「市場」の関係性を整理して理解していない。
	⑤展開の把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 段落間のつながりを踏まえ、本文を通底する大きな問題提起と筆者の主張を読み取り、端的に説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 段落間のつながりを踏まえ、本文を通底する大きな問題提起と筆者の主張を読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 段落間のつながりから、本文を通底する大きな問題提起と筆者の主張を読み取っていない。

	<p>⑥内容把握</p> <p>読(1)ア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考える「自立」とそれを支える「市場」の関係性を読み取って、説明している。 ・熊谷さんの考える「自立」の状態を読み取って、説明している。 ・筆者の考える「市場」の評価すべき点と注意すべき点を読み取って、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考える「自立」とそれを支える「市場」の関係性を読み取っている。 ・熊谷さんの考える「自立」の状態を読み取っている。 ・筆者の考える「市場」の評価すべき点と注意すべき点を読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考える「自立」とそれを支える「市場」の関係性を読み取っていない。 ・熊谷さんの考える「自立」の状態を読み取っていない。 ・筆者の考える「市場」の評価すべき点と注意すべき点を読み取っていない。
	<p>⑦考えの形成</p> <p>読(1)イ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張と、「自立」について書かれた他の文章を相互に関連付けながら、自分の考えを深め、根拠をもって説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張と、「自立」について書かれた他の文章を相互に関連付けながら、自分の考えを深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張と、「自立」について書かれた他の文章を相互に関連付けながら、自分の考えを深めていない。
	<p>⑧表現の特徴の理解</p> <p>読(1)ア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・比喻とそれが表すものを整理し、それがもたらす表現効果について理解し、説明している。 ・文中に使われている「——」(ダッシュ)の表現効果について理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・比喻とそれが表すものを整理し、それがもたらす表現効果について理解している。 ・文中に使われている「——」(ダッシュ)の表現効果について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・比喻とそれが表すものを整理していないか、整理していても、それがもたらす表現効果について理解していない。 ・文中に使われている「——」(ダッシュ)の表現効果について理解していない。
<p>主体的に 学習に取り 組む態度</p>	<p>⑨まとめと例示</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が考える「自立」と「依存」についての理解を踏まえたうえで、社会における「市場」の評価すべき点と注意点について、自分の考えをまとめ、説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が考える「自立」と「依存」についての理解を踏まえたうえで、社会における「市場」の評価すべき点と注意点について、自分の考えをまとめようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が考える「自立」と「依存」についての理解を踏まえたうえで、社会における「市場」の評価すべき点と注意点について、自分の考えをまとめようとしていない。

■「共鳴し引き出される力」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 〔1〕アウエ	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について正しく読んだり書いたりしており、本文で使用されている以外の読み方や使われ方についても理解している。 本文の語句について、指示されたものに限らず、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしている。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしていない。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解していない。
	②文章の読み方 〔1〕オ	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の体験談とそこから筆者が導いている内容の関係を確認しながら読み、筆者の主張となる文に印をつけ、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の体験談とそこから筆者が導いている内容の関係を確認しながら読み、筆者の主張となる文に印をつけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の体験談とそこから筆者が導いている内容の関係を確認しながら読むことをせず、筆者の主張となる文に印をつけていない。
思考・判断・表現	③キーワード把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 筆者が「能力」をどう捉えているかを整理して理解し、それを説明している。 筆者が考える「予防」と「予備」の違いを整理して理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者が「能力」をどう捉えているかを整理して、理解している。 筆者が考える「予防」と「予備」の違いを整理して理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者が「能力」をどう捉えているかを整理せず、理解していない。 筆者が考える「予防」と「予備」の違いを整理して理解していない。
	④内容把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 丹野さんの考えたことから導かれる「ラディカルな発想の転換」を読み取り、説明している。 『「共鳴」の感覚』を読み取り、説明している。 「彼らが身をもって示す能力の定義」がどのようなものかを理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 丹野さんの考えたことから導かれる「ラディカルな発想の転換」を読み取り、説明している。 『「共鳴」の感覚』を読み取っている。 「彼らが身をもって示す能力の定義」がどのようなものかを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 丹野さんの考えたことから導かれる「ラディカルな発想の転換」を読み取っていない。 『「共鳴」の感覚』を読み取っていない。 「彼らが身をもって示す能力の定義」がどのようなものかを理解していない。
	⑤考えの形成 読〔1〕イ	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張と、「自立」について述べられた他の文章を相互に関連付け・比較しながら、自分の考えを深め、根拠をもって説明してい 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張と、「自立」について述べられた他の文章を相互に関連付け・比較しながら、自分の考えを深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張と、「自立」について述べられた他の文章を相互に関連付け・比較しながら、自分の考えを深めていない。

		る。		
	⑥表現の特徴の理解 読(1)ア	・筆者が体験したことを当事者の言葉を引用しながら述べることによる表現効果について理解し、その効果を説明している。	・筆者が体験したことを当事者の言葉を引用しながら述べることによる表現効果について理解している。	・筆者が体験したことを当事者の言葉を引用しながら述べることによる表現効果について理解していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑦まとめと例示	・筆者の主張を踏まえたうえで、「能力」について自分の考えを深め、説明しようとしている。	・筆者の主張を踏まえたうえで、「能力」について自分の考えを深めようとしている。	・筆者の主張を踏まえたうえで、「能力」について自分の考えを深めようとしていない。

■ 「異なる主張の文章を読み比べて自分の意見を書く」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①言葉の働き 〔1〕ア	・自分の認識を確かにし、思考を深めるための言葉の働きについて理解し、説明している。	・自分の認識を確かにし、思考を深めるための言葉の働きについて理解している。	・自分の認識を確かにし、思考を深めるための言葉の働きについて理解していない。
	②文章の構成 〔1〕オ	・意見文にふさわしい構成について理解し、その特徴を説明している。	・意見文にふさわしい構成について理解している。	・意見文にふさわしい構成について理解していない。
	③情報の理解 〔2〕ア	・主張について、説得力のある根拠を選んでいる。	・主張について、ふさわしい根拠を選んでいる。	・主張について、ふさわしい根拠を選んでいる。
思考・判断・表現	④内容の検討 書〔1〕ア	・同じテーマの文章を読んで、違いを整理・比較したうえで、説得力のある自分の考えを持っている。	・同じテーマの文章を読んで、違いを整理・比較したうえで、自分の考えを持っている。	・同じテーマの文章を読んで、違いを整理・比較していないか、自分の考えを持っていない。
	⑤構成の検討 書〔1〕イ	・読み手に分かりやすくするための引用や展開などの構成を工夫して、意見文をまとめている。	・引用や展開などの構成を考えて、意見文をまとめている。	・引用や展開などの構成を考えて、意見文をまとめている。
学習に主体的に取り組む態度	⑥意見書の作成	・意見書の学習を通して、主張の異なる文章を読み比べ自分の考えを持ち、それを分かりやすく伝える方法を知ろうとし、社会や身の回りのテーマについて読み比べ、考えを深めることに興味を広げようとしている。	・意見書の学習を通して、主張の異なる文章を読み比べ自分の考えを持ち、それを分かりやすく伝える方法を知ろうとしている。	・意見書の学習を通して、主張の異なる文章を読み比べ自分の考えを持ち、それを分かりやすく伝える方法を知ろうとしていない。

■「情報を整理しながら話し合う」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①情報の理解 (2) 工	・聞き取った情報を吟味する方法を理解し、情報を相互に関連付けながら使っている。	・聞き取った情報を吟味する方法を理解している。	・聞き取った情報を吟味する方法を理解していない。
	②考えの形成 話・聞(1) 工	・聞き取った情報を書き留めながら整理し、的確に質問をして、自分の考えを広げたり、深めたりしている。	・聞き取った情報を書き留めながら整理し、自分の考えを広げたり、深めたりしている。	・聞き取った情報を書き留めながら整理していないか、整理していても自分の考えを広げたり、深めたりしていない。
思考・判断・表現	③話し合いの進め方 話・聞(1) 才	・話し合いの目的を明確にし、進行の仕方や意見の整理の仕方を工夫し、よりよい結論を導き出している。	・話し合いの目的を明確にし、進行の仕方や意見の整理の仕方を工夫している。	・話し合いの目的を明確にせず、進行の仕方や意見の整理の仕方を工夫していない。
主体的に学習に取り組む態度	④発表	・「企画会議」の学習を通して、話し合いの進め方や注意点を知らうとし、日常生活でも話し合いで自分の考えを広げたり深めたりし、よりよい結論を導こうとしている。	・「企画会議」の学習を通して、話し合いの進め方や注意点を知らうとしている。	・「企画会議」の学習を通して、話し合いの進め方や注意点を知らうとしていない。

■ 『無駄』と進化』 ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 (1) アウエ	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について正しく読んだり書いたりしており、本文で使用されている以外の読み方や使われ方についても理解している。 本文の語句について、指示されたものに限らず、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしている。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしていない。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解していない。
	②文章の読み方 (1) オ	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞に注意し、前後のつながりを意識しながら読み、その関連性を説明している。 具体例や仮定、対比表現に注目しながら読み、文章構造を理解して、それらを説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞に注意し、前後のつながりを意識しながら読んでいる。 具体例や仮定、対比表現に注目しながら読み、文章構造を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 熟語や既知の単語を拾い読みするのみで、文と文のつながりを意識していない。 具体例や仮定、対比表現に注目しながら読まず、文章構造を理解していない。
	③評論文キーワード (1) エ	<ul style="list-style-type: none"> 「システム」「一般」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「システム」「一般」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「システム」「一般」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④キーワード把握 読 (1) ア	<ul style="list-style-type: none"> 「無駄」と「変異」との関連性、「進化」とのつながりを理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「無駄」と「変異」との関連性、「進化」とのつながりを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「無駄」と「変異」との関連性、「進化」とのつながりを理解していない。
	⑤構成の把握 読 (1) ア	<ul style="list-style-type: none"> 意味段落ごとに適切な小見出しをつけ、その根拠を説明している。 各意味段落の内容を、キーワードを使って図示し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 意味段落ごとに適切な小見出しをつけている。 各意味段落の内容を、キーワードを使って図示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 意味段落ごとに小見出しをつけていない。 各意味段落の内容を、キーワードを使って図示していない。
	⑥内容把握 読 (1) ア	<ul style="list-style-type: none"> 「不均衡進化論」の内容を把握し、そのすばらしい点を理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「不均衡進化論」の内容を把握し、そのすばらしい点を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「不均衡進化論」の内容と、そのすばらしい点を理解していない。

		<ul style="list-style-type: none"> ・「現代の進化学」の内容と「通常イメージされている、適応的な進化」との違いを理解し、説明している。 ・『『無駄』な変異』の重要性と、それを「許容すること」の大切さを読み取り、説明している。 ・放射線に強い細菌の存在理由を読み取り、「生命という現象」についての筆者の考えを理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「現代の進化学」の内容と「通常イメージされている、適応的な進化」との違いを理解している。 ・『『無駄』な変異』の重要性と、それを「許容すること」の大切さを読み取っている。 ・放射線に強い細菌の存在理由を読み取り、「生命という現象」についての筆者の考えを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「現代の進化学」の内容と「通常イメージされている、適応的な進化」との違いを理解していない。 ・『『無駄』な変異』の重要性と、それを「許容すること」の大切さを読み取っていない。 ・放射線に強い細菌の存在理由を読み取っておらず、「生命という現象」についての筆者の考えを理解していない。
	⑦主題の把握 読(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の進化における二項対立の関係性を理解し、遺伝システムにおける変異の意義について読み取り、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の進化における二項対立の関係性を理解し、遺伝システムにおける変異の意義について読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生物の進化における二項対立の関係性を理解せず、遺伝システムにおける変異の意義について読み取っていない。
	⑧考えの形成 読(1)イ	<ul style="list-style-type: none"> ・DNAの複製の文章と、図版の関連性を確認しながら、どのような効果が生まれているかを考え、説明している。 ・筆者の主張について、関連する話題や情報に触れることで考えを深め、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・DNAの複製の文章と、図版の関連性を確認しながら、どのような効果が生まれているかを考えている。 ・筆者の主張について、関連する話題や情報に触れることで考えを深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・DNAの複製の文章と、図版の関連性を確認しながら、どのような効果が生まれているかを考えていない。 ・筆者の主張について、関連する話題や情報に触れることで考えを深めていない。
	⑨表現の特徴の理解 読(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> ・「～、一方、～」などの対比表現や「確かに○○。しかし～」などの譲歩表現から、筆者の立場を捉え、説明している。 ・「ジレンマ」「ランダム」などの語義を理解し、キーワードとの関連をつかんで説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「～、一方、～」などの対比表現や「確かに○○。しかし～」などの譲歩表現から、筆者の立場を捉えている。 ・「ジレンマ」「ランダム」などの語義を理解し、キーワードとの関連をつかんでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「～、一方、～」などの対比表現や「確かに○○。しかし～」などの譲歩表現から、筆者の立場を捉えていない。 ・「ジレンマ」「ランダム」などの語義を理解せず、キーワードとの関連をつかんでいない。
主体的に 学習に取り組む 態度	⑩意見の提示	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を踏まえ、「遺伝子」や「進化」に関する身近な話題に改めて目を向けることで、考えを広げ、自分独自の視点で説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を踏まえ、「遺伝子」や「進化」に関する身近な話題に改めて目を向けることで、考えを広げようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容を踏まえ、「遺伝子」や「進化」に関する身近な話題に改めて目を向けることで、考えを広げようとしていない。

■ 「人工知能はなぜ椅子に座れないのか」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 〔1〕アウエ	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について正しく読んだり書いたりしており、本文で使用されている以外の読み方や使われ方についても理解している。 本文の語句について、指示されたものに限らず、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしている。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしていない。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解していない。
	②文章の読み方 〔1〕オ	<ul style="list-style-type: none"> 引用や具体例とその一般化の関係を確認しながら読み、筆者の主張となる文に印をつけ、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 引用や具体例とその一般化の関係を確認しながら読み、筆者の主張となる文に印をつけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 引用や具体例とその一般化の関係を確認しながら読み、筆者の主張となる文に印をつけていない。
	③評論文キーワード 〔1〕エ	<ul style="list-style-type: none"> 「記号」「身体」「物語」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「記号」「身体」「物語」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「記号」「身体」「物語」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④内容把握 読〔1〕アイ	<ul style="list-style-type: none"> 「特徴を表現するという方法」に欠けている「重要な視点」を読み取り、『意図』についての理解との関係を理解し、説明している。 「場」と「自己」の認識の関係を読み取り、説明している。 本文とイラストを相互に関連付けながら筆者の主張を理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「特徴を表現するという方法」に欠けている「重要な視点」を読み取り、『意図』についての理解との関係を理解している。 「場」と「自己」の認識の関係を読み取っている。 本文とイラストを相互に関連付けながら筆者の主張を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「特徴を表現するという方法」に欠けている「重要な視点」を読み取れていないか、読み取っていても『意図』についての理解との関係を理解していない。 「場」と「自己」の認識の関係を読み取っていない。 本文とイラストを相互に関連付けながら筆者の主張を理解していない。
	⑤主題把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の考える『自らの人生を生きる』という行為について「人工知能」と対比して読み取り、「人工知能」が椅子に座れない理由を理 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の考える『自らの人生を生きる』という行為について「人工知能」と対比して読み取り、「人工知能」が椅子に座れない理由を理 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の考える『自らの人生を生きる』という行為について「人工知能」と対比して読み取れていないか、読み取れていても「人工知

主体的に 学習に取り組む 態度		解し、それを説明している。	解している。	能」が椅子に座れない理由を理解していない。
	⑥考えの形成 読(1)イ	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張と、「人工知能」について述べられた他の文章を相互に関連付けしながら、自分の考えを深め、根拠をもって説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張と、「人工知能」について述べられた他の文章を相互に関連付けしながら、自分の考えを深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張と、「人工知能」について述べられた他の文章を相互に関連付けしながら、自分の考えを深めていない。
	⑦表現の特徴の理解 読(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> 疑問形を用いて読み手に問いかける表現の効果について理解し、説明している。 本文中のさまざまな対比表現を整理し、表現効果について理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 疑問形を用いて読み手に問いかける表現の効果について理解している。 本文中のさまざまな対比表現を整理し、表現効果について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 疑問形を用いて読み手に問いかける表現の効果について理解していない。 本文中のさまざまな対比表現を整理し、表現効果について理解していない。
	⑧まとめと例示	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の考える『自らの人生を生きる』という行為を理解したうえで、自分の考えを深め、説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の考える『自らの人生を生きる』という行為を理解したうえで、自分の考えを深めようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の考える『自らの人生を生きる』という行為を理解したうえで、自分の考えを深めようとしていない。

■「白」ループリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 〔1〕アウエ	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について正しく読んだり書いたりしており、本文で使用されている以外の読み方や使われ方についても理解している。 本文の語句について、指示されたものに限らず、それ以外にも自分の分からない語句を取り上げ、意味や使われ方について理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしている。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文の漢字について、正しく読んだり書いたりしていない。 本文の語句のうち、指示されたものについて意味や使われ方を理解していない。
	②文章の読み方 〔1〕オ	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読み、その関連性を説明している。 具体例や対比的表現に注目しながら読み、文章の展開を理解して、それらを説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 接続詞や指示語に注意し、前後のつながりを意識しながら読んでいる。 具体例や対比的表現に注目しながら読み、文章の展開を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 熟語や既知の単語を拾い読みするのみで、文と文のつながりを意識していない。 具体例や対比的表現に注目しながら読まず、文章の展開を理解していない。
	③評論文キーワード 〔1〕エ	<ul style="list-style-type: none"> 「差異」「象徴」「メディア」「言説」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「差異」「象徴」「メディア」「言説」という概念語について、辞書的な意味だけでなく、本文の文脈の中での使われ方を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「差異」「象徴」「メディア」「言説」という概念語について、辞書的な意味や本文の文脈の中での使われ方を理解していない。
思考・判断・表現	④キーワード把握 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 「不可逆性」と「完成度」、「白という感受性」の関連を、情報に対する意識という観点から理解し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「不可逆性」と「完成度」、「白という感受性」の関連を、情報に対する意識という観点から理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「不可逆性」と「完成度」、「白という感受性」の関連を、情報に対する意識という観点から理解していない。
	⑤段落分け 読〔1〕ア	<ul style="list-style-type: none"> 内容に即して意味段落に分け、その根拠を説明している。 意味段落ごとに適切な小見出しをつけ、その根拠を説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容に即して意味段落に分けている。 意味段落ごとに適切な小見出しをつけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 内容に即して意味段落に分けていない。 意味段落ごとに小見出しをつけていない。

		<ul style="list-style-type: none"> 各意味段落の内容を、キーワードを使って図示し、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各意味段落の内容を、キーワードを使って図示している。 	<ul style="list-style-type: none"> 各意味段落の内容を、キーワードを使って図示していない。
	⑥内容把握 読(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> 「白」がどのように人間の意識に影響を与え続けてきたかを読み取り、説明している。 「推敲」という美意識と「白という感受性」との関連を読み取り、説明している。 インターネット時代の思考経路について読み取り、説明している。 「諸芸術の感覚」に通じる「白」の持つ意味を読み取り、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 「白」がどのように人間の意識に影響を与え続けてきたかを読み取っている。 「推敲」という美意識と「白という感受性」との関連を読み取っている。 インターネット時代の思考経路について読み取っている。 「諸芸術の感覚」に通じる「白」の持つ意味を読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 「白」がどのように人間の意識に影響を与え続けてきたかを読み取っていない。 「推敲」という美意識と「白という感受性」との関連を読み取っていない。 インターネット時代の思考経路について読み取っていない。 「諸芸術の感覚」に通じる「白」の持つ意味を読み取っていない。
	⑦主題の把握 読(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> 抽象的概念として「白」の持つ意味と、日本文化の美意識のつながりを読み取り、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 抽象的概念として「白」の持つ意味と、日本文化の美意識のつながりを読み取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 抽象的概念として「白」の持つ意味と、日本文化の美意識のつながりを読み取っていない。
	⑧表現の特徴の理解 読(1)ア	<ul style="list-style-type: none"> 個の「逡巡」と集団の「総合知」、「不可逆の定着」と「無限の更新」など筆者独自の表現の意味を理解して筆者の立場を捉え、説明している。 	<ul style="list-style-type: none"> 個の「逡巡」と集団の「総合知」、「不可逆の定着」と「無限の更新」など筆者独自の表現の意味を理解して筆者の立場を捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 個の「逡巡」と集団の「総合知」、「不可逆の定着」と「無限の更新」など筆者独自の表現の意味を理解して筆者の立場を捉えていない。
主体的に学習に取り組む態度	⑨意見文	<ul style="list-style-type: none"> 本文で述べられた「白という感受性」と、インターネット時代の感受性を比べて、自身の日常を振り返りながら、美意識や文化についての考えをまとめ、説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文で述べられた「白という感受性」と、インターネット時代の感受性を比べて、自身の日常を振り返りながら考えをまとめ、説明しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 本文で述べられた「白という感受性」と、インターネット時代の感受性を比べて、自身の日常を振り返りながら考えをまとめ、説明しようとしていない。

■「論証してレポートを書く」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①漢字・語彙 〔(1)ウ〕	・レポートを書くために適切な漢字・語彙を選択し、正しく書き表している。	・レポートを書くために必要な漢字を正しく書き表している。	・レポートを書くために必要な漢字を正しく書き表していない。
	②文章の構成 〔(1)オ〕	・レポートの種類とふさわしい構成について理解し、その特徴を説明している。	・レポートの種類とふさわしい構成について理解している。	・レポートの種類とふさわしい構成について理解していない。
	③情報の整理 〔(2)ウ〕	・推論の仕方について理解し、自分の考えや立場を明確にするために使っている。	・推論の仕方について理解し、使っている。	・推論の仕方について理解せず、使っていない。
思考・判断・表現	④考えの形成 書〔(1)イ〕	・適切な「問い」を立て、説得力が高まる論証の方法を工夫し、明確な「答え」を導いている。	・「問い」を立て、論証の方法を工夫し、「答え」を導いている。	・「問い」を立てていないか、立てていても論証の方法を工夫して、「答え」を導いていない。
	⑤構成の検討 書〔(1)ウ〕	・レポートに必要な項目を理解して、提出する課題に応じて形式や体裁を工夫して、整えている。	・レポートに必要な項目を理解して、形式や体裁を整えている。	・レポートに必要な項目を理解せず、形式や体裁を整えていない。
学習に主体的に取り組む態度	⑥レポートの作成	・レポートの学習を通して、自分の考えを論証しながら客観的に文章を書く方法を知ろうとし、身の回りのレポートの工夫にも関心を広げようとしている。	・レポートの学習を通して、自分の考えを論証しながら客観的に文章を書く方法を知ろうとしている。	・レポートの学習を通して、自分の考えを論証しながら客観的に文章を書く方法を知ろうとしていない。

■「探究したことを発信する」ルーブリック例

観点		A 十分満足できる	B おおむね満足できる	C 努力を要する
知識・技能	①表現や言葉遣い 〔(1)イ〕	・話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、その違いを説明している。	・話し言葉の特徴を理解している。	・話し言葉の特徴を理解していない。
	②話の構成 〔(1)オ〕	・聞き手に伝わりやすい話の組み立て方を理解し、その特徴を説明している。	・聞き手に伝わりやすい話の組み立て方を理解している。	・聞き手に伝わりやすい話の組み立て方を理解していない。
思考・判断・表現	③表現と共有 話・聞(1)ウ	・発表において、形式に応じて資料や視聴覚機器を効果的に使うなど、聞き手に伝わりやすい発表の仕方を工夫して話している。	・発表において、形式に応じて資料や視聴覚機器などを使っている。	・発表において、形式に応じて資料や視聴覚機器などを使っていない。
	④内容の把握 話・聞(1)エ	・発表において、しっかり反応を示しながら聞き、聞き取った情報を整理し、的確に質問や意見を述べている。	・発表において、しっかり反応を示しながら聞き、聞き取った情報を整理している。	・発表において、しっかり反応を示しながら聞いていないか、聞き取った情報を整理していない。
主体的に学習に取り組む態度	⑤発表	・「ポスターセッション」やスライドを用いた発表の学習を通して、さまざまな発表の形式の特徴を知ろうとし、日常生活においても聞き手を意識した形式で情報発信をしようとしている。	・「ポスターセッション」やスライドを用いた発表の学習を通して、さまざまな発表の形式の特徴を知ろうとしている。	・「ポスターセッション」やスライドを用いた発表の学習を通して、さまざまな発表の形式の特徴を知ろうとしていない。